



総会・役員会

★第4回拡大役員会★

12月3日(土)14:00～ やしお生涯楽習館市民団体活動室にて、9月以降の活動実績、今後の予定と対応について、企画講座の今後の当番期などを確認し、次期役員について話し合われました。活動実績ではOB通信62号掲載の記事以外に「カヌークラブ体験教室」のお手伝いをしたことや「やしお市民大学企画会議」への参加の報告がありました。今後の予定と対応については各部の報告に続いて企画講座の「お豆腐のできるまで」「プロの講談を聴く会」への好意的な感想から「さらに発展させたいと確認できました。次期役員に関して明確な方針が見えず保留となりました。



落合食品での豆腐が出来るまで

★第5回拡大役員会★

1月28日(土)10:00～11:30 やしお生涯楽習館市民団体活動室にて行われました。今後の予定と対応について確認され、花桃まつり実行委員会の取組状況や各部会の活動実績と予定の報告がされた後、検討事項として総会について意見交換がされました。活動計画については特別な意見はありませんでしたが、総会の運営では市民大学の前年度の卒業生がいないため総会の司会、議長を昨年と同様に17期にお願いする事になりました。また、会計も引き続き現会計が受け持つ事になりました。



★第6回拡大役員会★

2月25日(土)10:00～12:00 やしお生涯楽習館市民団体活動室にて行われました。始めに、2/1(水)やしお市民大学運営委員会との懇談会や2/13(月)第2回やしお市民大学企画会議では大学への入学者をいかに増やすかを話し合われたとの報告がされました。次に、今後の課題と対応では、18期市民大学卒業生へのOB会入会案内活動をする事や花桃まつりで例年行っている駅頭案内について活動内容の詳しい説明がありました。駅頭案内をする担当者、2日間午前と午後2名ずつの計8名は役員内で分担しました。

企画活動

==企画講座==

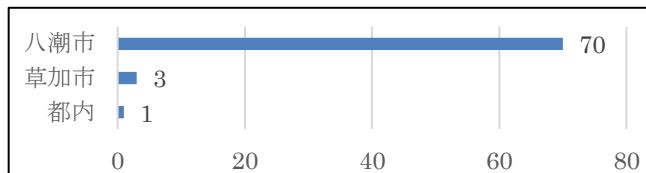
★「プロの講談を聴く会」来場者アンケート★

当日は会場の楽習館多目的ホールの席が何日かぶりに多くの方で埋まりました。来場者109名の内74名の方がアンケートにお答えくださいました。アンケートの集計をして頂きましたので紹介します。結果はほとんどの方が好印象を持たれていました。



講談師「神田伊織」

1. 「どちらからお越しいただきましたか？」



部 会 活 動

==健康ウォーキング部会==

☆第9回「晩秋の常盤平を歩く」☆

令和4年11月22日(火)9:00 八潮駅集合、天気は晴れ、受付とコロナ健康チェックを完了後、TX八潮駅を出発、武蔵野線南流山駅を経て、新八柱駅到着後、準備体操を行いスタート。

本日のコースは松戸市常盤平「新日本街路樹百景」7kmで、宮前公園、白鬚神社にてウォーキング部会1日の無事を祈り参拝、



徳蔵院境内

松戸七福神である徳蔵院、かぶと公園、国交省建設技術展示館の見学、子と清水、金ヶ作公園等のウォーキングでした。



子と清水向かいにて

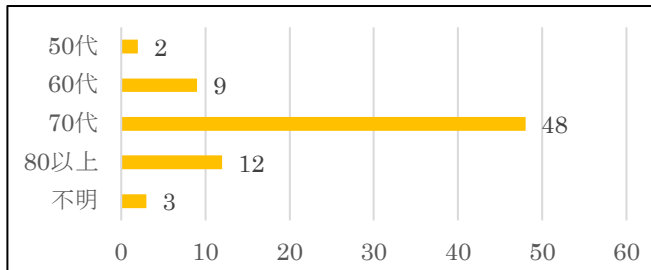
「常盤平団地」は昭和34年12月命名され、昭和35年入居が開始し、昭和37年入居が完了した170棟、約5,000戸で、特に幅員の広い道路網と並木道「けやき、さくら、百合の木他」、公園も広く、60年を経過した街並みが晩秋の紅葉に映え、思い出に残りました。



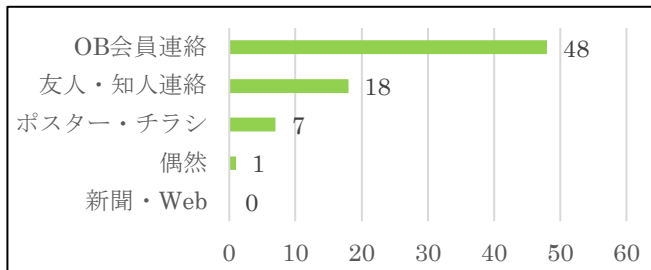
金ヶ作公園内

今回得た情報を3つほど。1つめは松戸競輪場(昭和25年開設)についてです。当初レース開催日の打鐘(ジャン)が聞こえた日は、近隣からも大勢の人が競輪場へ向かったようです。2つめは全国的に話題となった「松戸市すぐやる課」についてです。昭和

2. 「年齢」



3. 「今回の企画講座をどのようにお知りになりましたか？」



参加された方のほとんどは市内在住でした。年齢については市民大学OB会の会員の構成と同様に思われます。それは、講座の情報を「OB会員の連絡」で知られた方が多いことから言えるかと思えます。

4. 「今回の企画についての意見・感想」

回答者74名の内62名の方から意見・感想をいただきました。内容を分けさせていただくと、39名の方は今回の企画・運営について「良かった」「ありがとう」とのことで、「プロの講談無料では失礼」というご意見もありました。また、33名の方が「楽しかったです」「良かった」と記入されていました。「講談の解説から本題へ」という今回の内容に触れるなどして神田伊織さんの講談が良かったという方が8名いらっしゃると一方で、「楽屋話にもう少し笑いがあれば」と辛口の見解もありました。次に、16名の方が今回の演題の「杉原千畝」の話に感動したとのことでした。そして、今後の開催を希望する意見もありました。

5. 「今後のやしお市民大学OB会企画等への希望」

- ・次回企画への期待 (8)
- ・落語も聞きたい (5)
- ・日本の伝統芸能 (3)
- ・音楽講座を希望(多目的ホールを使う) (2)
- ・定期的に開催 (1)
- ・もっと市民に宣伝を(偶然通りかかって) (1)
- ・八潮市をPRできるイベントを広く世に紹介する (1)
- ・多くのイベントを希望 (1)
- ・胡弓のような演奏 (1)
- ・映画が見たい (1) ・防災について (1)

と言ったご意見が寄せられました。

44年1月松戸市長に松本清氏が就任し、「すぐやる課」を設置しました。縦割りで反応が鈍い「お役所仕事」を改善し、市民の要望にできるだけ即応するという組織で「すぐやらなければならないもので、すぐやり得るものは、すぐやります」を標語とし、現在でも存続しており、市民の安全・安心な生活環境作りの一端を50年以上に亘り担っています。自分も標語に出会い、日常生活において信条のひとつとして心がけています。3つめは昼食時のこと、デザートに「みたらし団子」かと思いきや焼き鳥の垂れ味で初めて頂くものでした。



晩秋の日を受けながら

(13期 渡辺 幸男)

★第10回東京十社2番「根津神社」～「谷根千」★

12月16日(金)千代田線根津駅で下車。つつじの名所でも知られる根津神社は、徳川五代将軍綱吉が世継ぎが定まった際に、現在の社殿を創建旧地の千駄木から根津へ移築しました。近くには世継ぎ(六代家宣)の産湯に使ったとされる井戸が在ります。少し歩くと夏目漱石が帰国後3年間住み、処女作「吾輩は猫である」の舞台にし、後に「坊ちゃん」「草枕」などを執筆した旧居があったようです。今は案内板が在ります。



根津神社表門

さあ、ここからが「谷根千」と呼ばれる古い街並みがなお色濃く残る谷中巡りです。夕焼けだんだんと呼ばれ夕焼けの名所になった谷中銀座は通りぬけてしまうだけでは物足りない懐かしい風景です。岡倉天心公園を経て谷中分室で小休止、日だまりの中でみんなの会話や笑い声にほっとする一時でした。谷中の坂道、階段、遺跡を巡ると観音堂の境内の南西にある37メートル程の築地塀は珍しい土塀だと

気づきました。川口松太郎の「愛染かつら」のヒントになった自性院、山岡鉄舟創建の全生庵、王林寺などを巡りました。その先にある谷中のシンボルとされるミカドパン店の「ヒマラヤ杉」は、現在ばっさり剪定されていて元の姿を想像できませんが、それでもどっしりと構えた杉でした。



日が高いけど「夕焼けだんだん」で



台東区谷中区民館前にて



王林時内の横綱千代の富士像

大名時計博物館の横を抜け、根津駅に近い食事処「巡りや」さんへ。「究極の卵かけご飯」が大人気らしい。本日も完食です。

食後2班に別れ今後どこへ行きたいか話し合い、いくつか案がでるものの諸々の条件に合うものは難しいが、やっと一か所に絞ることができた。北千住で解散となりますが、今年はコロナ禍の中でも行動制限の緩和もあって、個々で感染対策をしっかりとしながらウォーキングの旅にリフレッシュできた一年でした。

(8期 久保 節子)

★第11回新年ウォーク『日光街道草加宿&草加七福神』★

1月24日(火)のウォーキングの「草加宿と七福神巡り」は旧日光街道沿いである。

何となくウキウキ気分・・・!!

それは、草加駅前から獨協大学前駅までの1区間(6.5km)を歩くのは初めての体験だからです。松原方面へと足を運ばせていき、東福寺に参拝、左

==太極拳部会==

☆太極拳部会活動について☆

太極拳部会（やしお健康太極拳）は平成26年から活動を開始しました。今年で10年目になります。

新型コロナで活動休止した時期もありましたが、最近では感染対策しながら通常通り稽古しています。活動開始当初からの5名のメンバーそしてその後加入したメンバーで稽古に励んでいます。ただ残念なことは、以前より活動内容は制約され毎年開催のOB会総会後



の懇親会での演舞披露や部会懇親会（忘年会や暑気払い）そして太極拳協会のイベント参加がこの3年間コロナのため実施できなかったことです。今年こそは感染を懸念することなく以前のように活動できる日が訪れることを願っています。

太極拳は呼吸を大切にしています。深い呼吸は血流をよくし、免疫力もアップします。また、足腰を丈夫にし高齢者の大敵である転倒防止にも効果があります。高齢者にとって健康で自立した生活ができることは何よりも大切です。太極拳でより長く健康を保ち、仲間との交流でより楽しい場を提供することができればと思っています。

新規の入会者も募集中です。見学、体験してみませんか。初心者大歓迎です。稽古は第1、第3、第4水曜日10:00~11:30 楽習館で実施しています。

(8期 久保 敏夫)

☆太極拳を続けて早5年☆

私がやしお健康太極拳に入会して、5年ぐらい経ったのでしょうか。以前から体にいいものやりたいと思い、でも激しい運動は苦手だし・・・なんて思っていたところ、OB会で出会ったのがきっかけでした。

入ってみたら、みんながなぜあんなふうに分かるのか不思議でたまりませんでした。それから苦節5年！24式（太極拳の24の動きの型のこと）はなんとか付いていけるところまではこぎ着けました。でもまだまだなんです。それは呼吸なんです！ゆっくりの動作に伴うふかーい、ふかーい呼吸がなかなかできない。先生が口をすっぱくして毎回呼吸の大切さを力説します。ゆっくり吸って、ゆっくり吐く、

手に三鈷の松が・・・この松の葉は三本になっており、落ちた松葉を拾ってお財布に入れると幸運が訪れると伝えられているそう。私は「いい～、一年になりますように」と、願いを込めて財布の中に入れた。それから神明町方面に歩きを進めますと、小雨から一気に晴れて気温急上昇、ダウンコートを脱ぎ半袖シャツに着替えた人もいた。



草加神社境内



標識「今様草加宿」前にて



松寿山東福寺



草加松原太鼓橋

♪最高のウォーキング日和だ～♪きっと「三鈷の松のおかげ・・・」と、私は思った。

昼食は『ミニ会席御膳』。フキノトウの天ぷ

らは口いっぱい香り広がり、春の訪れにし・あ・わ・せを感じた。

「これも、三鈷の松のおかげ。」いいえ、「内藤部長のおかげです。」いつも美味しい食事処に御案内頂きありがとうございます。

私は、もう一度この街をひとりウォーキングをしてみようと思う。(本日の歩数=1万5248歩)

(10期 田邊 信代)

ゆっくり吸って、もっとゆっくり吐く。それができた時は体が芯からじわーっと温まるのです。そしてその呼吸を保ちながらゆっくり動く。挑戦はまだ続きます。



(13期 西 康子)

流会を開きたいと思い、今から楽しみにしています。

コロナ禍から早く抜け出したいと思う毎日ですが、お互い体調に気を付けてコロナ禍を乗り切りましょう。



大学院研究発表会後の昼食会

(16期 白石 和子)

同期生の話題

☆13期食事会（とさかにて）☆

12月14日(土)に八潮駅に集合して、暗くなると危ないので早い時間に「とさか」八潮駅前にて、やしお市民大学14期生の食事会を開催しました。参加人数6名。「西村さん・前田さん・松村さん・渡辺さん・堀さん・酒井(写真順)」写真の通りみんな元気です。コロナ感染症の為、参加を控えるなど個々の理由で少人数での同期会でした。13期全員で集まらない事はとても残念です。

集まった皆で近況報告。焼き鳥、お酒、ジュースと美味しい食事を摂りながら、とても楽しいひと時を過ごすことが出来ました。

今回は全員に会える事を期待しています。



「とさか」にて

(13期 酒井美代子)

☆16期昼食会☆

令和5年2月4日(土)市民大学大学院研究発表会に大学16期生のわたくし白石が「目指そう！元気な101歳を!!」をテーマに研究発表を行いました。多数の同期生が来てくださり、会の終了後、良い機会なので皆さんと昼食会をしました。マスク越しの会話でしたが、とても楽しい一時を過ごしました。今回は都合で来られなかった方々も交えて楽しい交

やしお市民大学

☆大学院研究発表会☆

2月4日(土)9:30～、楽習館多目的ホールにおいて令和4年度のやしお市民大学大学院15期生の研究発表会が行われました。コロナ感染症の影響が弱まったことで、前回より多くの方がお集まりになり、活気ある発表会になりました。発表の内容の素晴らしさはもちろんですが、質問にも感心させられ、質の高い研究発表会であったと思えました。

お一人目の白石和子さんは大学16期生です。テーマは「目指そう！元気な101歳を!!」～健康寿命から見た、八潮市と志木市の比較から～です。詳しい研究内容は後日に市民大学のホームページにアップロードされたものをご覧頂くとして、ここでは発表後の質問で、「101歳」にこだわった理由を問われて、「百を目標で終わるのではなくその先



発表の様子

への思いから」との答えに発表者の表題への工夫が面白いと感じたことを記しておきます。

私は「人生100年！健康寿命100！」

と聞いても自分事として実感できずにいました。白石さんはお孫さんの温かい「バーバが100歳になったら、お金を貯めて、ハワイに連れて行くから、元気でいてね！絶対だよ！」との言葉によって、ご自身のこととしても深く捉えることになったと私には思えました。そして、家族の思いが何よりも私達高齢者の健康を維持増進させてくれるものだと改めて気付くことができました。

お二人目の高坂里美さんは大学9期生です。テーマは『SDGs 今、私達に出来ること』～一人一人の取り組みで持続可能な社会に！～です。SDGs と言えば地球全体を考える壮大な課題に思い、途方に暮れそうですが、『ハチドリのひとしずく』いま、私にできること 監修・辻信一より」を提示し、実践で示した多くのメリットは八潮市のごみ処理問題に新しい可能性を提案するものでした。

日常的に燃えるごみとして出している生ごみの80%が水分、その上、発表者が行った3ヶ月間の実践ではコンポストに投入した生ごみの量と燃えるごみとして出した量はほぼ同じ50%ずつ、ということは、生ごみを合わせて

出していたら燃えるごみの40%は水ということになります。燃えるごみの40%が燃焼の邪魔をし、運ぶに重いだけの水ということになります。何と無駄なこ



質疑応答時の会場の様子



発表の様子

とでしょうか。生ごみを個人で再利用する取り組みは沢山のメリットのある『ハチドリのひとしずく』だと思いました。

お二人の素晴らしい研究発表によって、多くを学び、認識を新たにすることができました。

(16期 鹿野 雅巳)

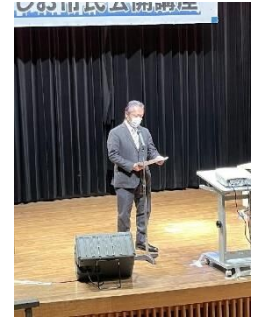
☆大学自主研究発表会☆

2月18日(土)午後1:30～、楽習館多目的ホールにて、やしお市民大学18期生3グループによる自主研究発表会が大山忍やしお市民大学学長の挨拶に続いて行われました。

始めは、『「八潮のむかしばなし」発刊されて30年後の現在』、グループ名は「八潮むかしばなし保存会」で、メンバーは滝瀬衣子さん、大垣恵子さん、鈴木茂樹さんの3名です。

「八潮のむかしばなし」には20話掲載されています。この20話全てについて現地に行き視覚で変化・劣化の有無を確認し、発行当時の写真や資料との比較によって、今後の保存の参考資料や対策の助言を行うという研究でした。発表の中で、心配なものを3点上げていましたが、全体として建物自体の大きな劣化は見られなかったし、石碑や墓石は移設されているものがあつたものの劣化はないということでした。現地を調査することは時間と労力を必要とすることで、研究の成果は教育委員会を始めとする関係諸機関、団体にとって貴重な調査資料となったことでしょう。

次に、『なぜ八潮市の水道水はおいしいのか！？』、グループ名は「あきんど隊」で、メンバーは岡田宏行さん、宍倉明美さん、名取陽子さんの3名です。大学のSDGsの授業で飲料水の大切さを学び、八潮市の水道事業の授業で「おいしい水道水ができるわけ」や「すばらしい施設」を学んだことで、日頃何気なく使用している水道



水にさらに興味をもったことがこの研究の動機です。

歴史から始まり、現在の仕組みを実際に調査に行かれたり、資料を利用したりして、施設ごとに役割などをていねいに報告されました。また、災害時の備えについての報告や八潮の水道

水の良さを広く知ってもらうための「名水づくり」も提案されていました。八潮の水道水について丸ごと分かる研究報告だと思いました。

最後に、『八潮の地名と文化財は私たちの宝物』、グループ名は「大曾根イーストクラブ」で、メンバーは石橋百合子さん、千代田悦子さん、鴨狩昌宏さんの3名です。区画整理で古くからの地名が一部を除いて消滅する現実と市内唯一の発掘遺跡である八條遺跡の現地には案内看板すら無いという状況を

知ったことから、八潮市全域の地名とその由来、地域の文化財を調査し、さらに、どのように広め伝えるかの手立てを考えようという研究でした。特に、手立てについては「八潮郷土かるた」や手作りの「地名由来と文化財案内看板」の紹介があり、どちらも具体的なもので、今後の継続した取り組みが楽しみです。発表者の八潮に愛着を持つ人を増やし



発表の導入にひと工夫



手作りの「地名由来と文化財の案内看板」

たいという強い思いが伝わりました。それが町会加入や選挙行動へ繋がればという思いも目的であったようです。

井上正人やしお市民大学副学長の講評では、学ぶ意欲がすばらしく、動機・方法が明確であり、そして、発表の様子がしっかりしているとの指摘がありました。3グループともクオリティの高さを感じたとのことでした。とても充実した発表会でした。



手作りの「八潮郷土かるた」

(16期 鹿野 雅巳)

特別寄稿

★やしお市民大学「避難所運営ゲーム」授業報告★

コロナ感染も少しずつ落ち着きをみせている令和5年1月14日(土)13:30~15:30、りら一と八條(旧八條公民館)2階会議室にて、やしお市民大学の授業のひとつとして「避難所HUG」を実施しました。講師を「八潮孤立問題研究会」メンバーの8期、原文雄、他3名が務め、対象者は1・2年生合同で、1年生19期10名、2年生18期9名の計19名でした。2年生は昨年この授業を受けています。

授業内容は、1部「避難所における新型コロナウイルス感染症の対応」について、有事の際に地域住民が率先して避難者を受け入れていくのですが、避難者は色々な人がいるので、どのように受け入れるかを考えながら、速やかに受け入れなければならないこと、また新型コロナウイルスなどの感染症に対して、どのように運営していくかをパワーポイントを使って講義を進めました。

2部では、「避難所運営ゲーム(HUG)の体験」を4グループに分かれて行いました。読み上げられたカードの内容によって、グループ内で意見を出し合っ、机上に広げた体育館の見取図の上にカードを置いていきました。

学生からの感想では、「今回の授業、避難所HUGは突然の災害に対して殺到する避難者を、どのように誘導、配置したらよ



いのか？緊急時の
 困難を想定した体
 験テーマで、とて
 も大事な授業でし
 ました。同時に常日
 頃の防災意識を保
 つ大切さ！再認識
 できました」とあり
 ました。また、「現
 実に避難する事にな
 るとパニック状態に
 なることが想定さ
 れます。行政で先導
 出来れば良いので
 すが、その場に立ち
 会うと色々なこと
 があるという事が分
 かったので、少し
 でも役立つことが
 出来ると思いま
 した」との意見を
 頂きました。



学生の皆さんは、防災について真剣に考えられて
 いることがみられました。

(8期 原文雄)

*** やしお孤立問題研究会のメンバーです ***



左から

高橋金作氏

(8期)

狩野 稔氏

(8期)

小林和義氏

(4期)

原文雄氏

(8期)

連絡事項

☆行事予定☆

4/22 (土) : OB会総会

時刻 : 14:00~

場所 : 楽習館 多目的ホール

☆次号の案内☆

次回7月発行の64号は新しい1年が始まります
 ので、総会、企画活動、協働活動、紙面の中心とな
 る部会活動、市民大学の入学式の様子と多様な内容
 になる予定です。

☆投稿に当たって☆

- ・記事は300~700文字程度とし、できるだけ写真添
 付でお願いいたします。
- ・写真を貼り付けたワードの文章やワードの文章と
 写真を添付した「e-mail」が助かりますが、手書
 き文章と写真の「郵便での送付」または「手渡し」

でも結構です。

- ・企画事業はじめOB会の記事は会長又は副会長経
 由、部会報告は部長経由、その他は適宜記事の提
 供をお願い致します。

なお、紙面に余裕のある際には会員の皆さんの自
 由な投稿を特別寄稿として掲載していきたいと思
 います。皆さんも気軽に投稿をお願いします。

☆市民大学OB会通信QRコード☆

バックナンバーが見られます。
 スマホ、タブレットでQRコー
 ドを読み取ってください。



編集後記

本通信でも部会の活動の様子を多く載せることが
 できました。また、大学の授業を行っている「やし
 お孤立問題研究会」を紹介できたことは良かったで
 す。そして、同期生の話題を2つ載せることができ
 ました。期ごとの活動の投稿が増えることを期待し
 ます。一方で、他の活動が少ないために編集過程で
 作成した記事が多くなってしまいました。ご意見が
 あればお寄せください。

やしお市民大学OB会OB通信編集委員会

編集委員 豊田 隆(会長 10期)

寺嶋 誠(副会長 12期)

平松 伸介(副会長 14期)

金澤 文子(副会長代 14期)

田邊 信代(10期)

酒井 美代子(13期)

堀 公保(13期)

高橋 専一(14期)

責任者/連絡先/記事送付先 :

鹿野 雅巳(16期)

(PCメール) mf-kano@td6.so-net.ne.jp

(郵便) 〒340-0822 八潮市大瀬 4-1-11

(電話・Fax) 048-995-4892

(携帯メール) kleostar3@gmail.com